教区新報 HONYOGO

発行所
浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6丁目3番1号
（本願寺神戸別院内）
電話 神戸(078)393－5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1994. 10. 84号

「事業完遂へ協力を」

各総代研修に財務委員出向

兵庫教区門徒総代会（雲山豊会長）ブロック別研修会が、去る九月十九日の岡山ブロックをトップに開催され、以降二十六日に阪神・神戸、二十七日に東播、二十八日に姫路、十月六日に但馬、七日に丹波、なお九月二十九日開催予定の西播ブロックは台風のため十月十三日に変更されての開催となった。

この研修会は、門徒総代が、自ら聞法にはげみ相互の親睦提携を密にし、伝道に協力する態勢を整えるとともに、寺門の護法発展に寄与し、宗門の基幹運動を推進することを目的として開催され、本年は本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立総合復興計画について、建設推進・財務部会より、委員が出向して協賛のお願いの時間をもっての開催となった。

阪神・神戸ブロック研修会へ参集の総代さん

阪神・神戸ブロックでは神戸中組光尊寺（広瀬照晴住職）において井上朋義師（加古川組正願寺）を講師に「御同朋の社会をめざして」と題して講義があった。昼食の後、別院改築・教化センター設立総合復興計画について瑞穂光信財務部会長（阪神南組常念寺）から現況報告として、総予算二十二億八千六百万円のうち、十一億九千八百万円（五十二・五％）教区寺院懇志総額九億円のうち、七億五千二百万円（八十三・六％）の進納。依頼・協賛懇志の全額進納寺院が七百七十五か寺中四百四十六か寺（六十％）未進納寺院が六十八か寺となっていること（九月二十二日現在）を述べ、工事の進捗状況を説明し、支出額も九億七千万円にのぼっていること。十二月までには、工事費の二十五％を含めて約五億三千万円の支払いが必要であり、実情を訴え、寺院懇志の協賛と納骨所についても各門信徒への紹介をお願いした。

その後、四班に分かれて「基幹運動を進めるには」「み教えに生きるとは」をテーマに分科会があり、研修指導員の藤榮行信師（淡路組宣徳寺）の進行で分科会発表があった。分科会ではお寺を活性化するためにはということが主題であったようで、「住職が率先しなければ」「寺と門徒のパイプ役として総代自らが精進することが責務」と言った意見が出されていた。

最後に井上朋義師より基幹運動について、御同朋の社会をめざしてということについてまとめの講義があった。

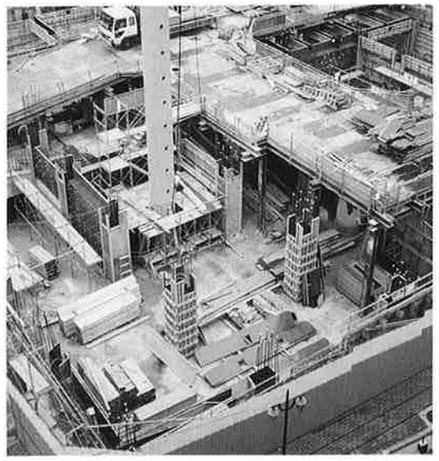
「お浄土は、隣の間だ」という言葉があります。だからといってあの世（浄土）とこの世（人間世界）とを居間続きにしてしまっては、いけません。ご門徒さんも、この言葉を聞いたことも無く、その意味するところも判らないからです◆それにしても、人間の延長線上に仏の世界を置いているのです。その一例が、お仏壇にお水やお茶を供える風習でしょう。「どうして、お水やお茶を仏壇にお供えするの」「ソリャ仏さんも喉が乾くでしょう」。「イヤイヤ仏さまのところは、そんな不自由なところでは無いですよ」ということで、『大経』の「百味飲食」を説明し、清浄（無漏）の仏と、九穴より不浄を出す（有漏）の身の人間の話をします◆その他、満足に念珠の掛けれない方、勝手な焼香の仕方、調声も同音も無視した読経、過去帳に書いても位牌を作りたがる門徒等々◆お手継ぎの行き届かない僧侶として、宗祖の悲嘆述懐を噛みしめながら、今日も明日も参詣する。

（前川隆司）

教区だより 10・11月

13日(木)
近畿所長会　大阪
14日(金)～16日(日)
別院常例法座　窪田正憲師　1時半
19日(水)～20日(木)
全国教誨師大会　東京
19日(水)
企画・常任委員会　10時半
20日(木)
ビハーラ兵庫研修会（協議会）　10時半
21日(金)
氷上西組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露　安養寺
青年僧侶の会研修会　3時半
22日(土)
東播ブロック蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露　兵庫女子短大
24日(月)
岡山北組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露　報恩寺
26日(水)～27日(木)
近畿ブロック寺婦研修会　舞子ビラ
28日(金)
愛生園追悼法要
29日(土)～30日(日)
第3連区門推研修協議会　奈良
11月1日(火)
宍粟組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露　妙福寺
5日(土)
第一土曜仏教講座　三宮義信師　1時半
仏婦若婦人の集い　県民会館
6日(日)
永代経開闢法要　大谷本廟
7日(月)
淡路組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露　萬行寺
9日(水)
社推協協議会　1時
社推協研修会　2時

本願寺神戸別院改築 兵庫教区教化センター設立 建設工事進捗状況



地上1階の床が見える現場94，9，26撮影

現況

（地下一階部分の工事）
（A工区＝東側地下二階）
9／2日
・コンクリート打設
6日
・墨出し
7日
・総合定例打合せ
8日～12日
・第一段目切梁解体
13日～15日
・棚杭引抜
・スロープ解体
14日
・定例打合せ
16日～20日
・柱、溶接フープ巻き
壁配筋
21日
・総合定例打合せ
21日～29日
・型枠建て込み

予定

10月中旬頃から地上一階部分の柱、壁配筋の工事が始まる予定。

建設懇志進納総額

十二億二千八百三十九万七千五百二十八円
（94年9月30日現在）

11月に若婦人の集いを 兵庫県民会館で

教区仏教婦人会連盟（木村久子委員長）では、来る十一月五日、第七回若婦人の集いを兵庫県民会館（神戸市中央区下山手通四－十六－三）で、午後一時から四時までの日程で開催いたします。テーマは『仏教婦人（若婦人）への願い』で講師に森重一成師（安芸教区養専寺住職）をお迎えして、対象は五十歳未満の仏教婦人、参加費は一名八百円、募集人数は三百五十人、申込みは参加費を添えて十月二十五日までに組委員（組会長）へお申込み下さい。

仏青は西光寺で研修

教区仏青連盟（別所麻美委員長）では、来る十一月三日に宍粟組西光寺において研修会を開催致します。募集人数は二百名、参加費は一名千円、クイズ大会では豪華賞品が盛り沢山。申込み締切りは十月二十日まで。お問い合わせ、申込みは教務所仏青連盟事務局（担当竹内）まで

報恩講の「法」をご門徒へ

法シリーズ報恩講号を同封致します。門徒さん向けに作成しておりますので、文書伝道にご活用下さい。前回のお盆号は三千部以上のご注文を頂きました。

今回も一部二十円で、百部以上の場合は、無料で寺号を印刷致します。お早めにお申込み下さい。

敬弔

高島浩信師（たかしま・こうしん＝揖竜東組照雲寺住職）九月十四日、七十一才で往生。葬儀は九月十六日、照雲寺で。「正覚院釋浩信」。昭和六十二年より住職在職八年。本願寺派布教使。

松阪龍遵師（まつさか・りゅうじゅん＝佐用組光福寺前住職）九月二十八日、七十八才で往生。葬儀は十月一日、光福寺で。「桃谷院釋龍遵」。昭和四十六年から同六十一年まで住職在職十五年。

第10回世界仏教婦人大会に出席して

兵庫教区仏婦連盟委員長　木村久子

九月一日、大阪空港にて土基教務所長先生の結団式のご挨拶に見送られて、総勢百一名はロサンゼルス着、まず、ロス別院へ参詣し、市内一遊の後、ディズニーランドでは日本の私たちを歓迎するかのように華やかなパレードに打ち上げ花火に、大勢の人、人に酔いしれた夕べを最初に出合いました。

「南無阿弥陀仏、合わす両手に世界は一つ」のテーマのもとカリフォルニア州アナハイムにて第十回世界仏婦大会のご勝縁に逢わせて頂き、生涯忘れえ得ぬ幸せと喜びを味わうことが出来ました。

アメリカで最も人気のある国立公園の１つヨセミテの高さ１㎞もの岩をバックに

総裁様が自ら開会宣言をお述べになられ、厳粛に大会が敢行されました。参加者三千三百十四名と発表がありました。

基調講演は籠谷真智子先生の「蓮如上人伝道のご生涯を偲ぶ」を拝聴し上人の実母義母お二方のお話、御文章「白骨章」のお話が印象に残りました。

セミナーでは、米国における仏教会の歩み、仏婦の活動を映写によって説明があり、二世の咲本さんの体験発表に戦中戦後のご苦労を思い、また、お世話下さった方々は日本から三十年前からの在米で遠く離れた異国で「わが骨をアメリカの地に埋めてぞ永久にみ法のいや栄を念ず」のお歌（開教総長）通りに、お慈悲のもと一生懸命生きてこられた皆様方に頭が下がりました。私は教区を代表してダーナ活動、ダーナ手帳の普及、今年で七年目を迎える若婦の集いを発表しましたところ、有意義な意見交換があり大きな収穫でした。

四日は、前門様御導師で蓮如上人五百回遠忌お待ち受け法要に続いてご親教を賜り、閉会式では、十回ともご臨席なされました、名誉総裁様のお言葉にただ感涙のみでございました。また、この大会でのお出逢いを約束し、楽しみにしておりました山岡誓源先生御夫妻様と御目文字できました事は、私には最高の喜びで、この御縁を大切にしたいと願っております。

「往生浄土」をテーマに

第20回門徒推進員研修会

教区門徒推進員連絡協議会（桑田勇会長）では、去る九月十一日、第二十回研修会を播磨中組福恵寺において、七十二人の参加をもって開催した。

講師は山本達誓師（神崎組教徳寺）で『往生浄土の教え』をテーマに、研修読本第三章十項を中心に一時間の基調講演があった。

昼食の後、六班に分かれて三つのテーマをもっての話し合い法座があり、五班・六班は「死んで浄土に往生するというが何が往生するの」をテーマに話し合いがもたれた。話し合いの中で、「死んだらお浄土へ行けるというが、今もこの世がお浄土。念仏申す人が集う場所は、まさにお浄土であると思う」「人間の生きる場は、すべて仏の手の上である」など、活発に意見が出され、全体討議で発表された。各班からの発表を受けて、山本達誓師より「往生浄土の教えとは、弥陀の誓願不思議にたすけられまいらせて、私が浄土に仏として生まれ変わらせていただく教えと理解することが大切です」とまとめられ、充実した研修会を終了した。

全体討議で発表する前田君代さん

大会も終わり五日目からラスベガスから雄大なグランドキャニオン・飛行機での遊覧・地上から眺めた大渓谷のすばらしさ、今でも一番谷底でヤマタイ族が百人位生活しているとのことでした。ヨセミテ国立公園の絶壁と緑の美しい渓谷、自然の景観。もう二度とない霧の町サンフランシスコで四十人が二千七百米のベーブリッジを歩いて渡ったこと、どこへ行くにも飛行機での移動、規模の大きさには驚きました。

少しの時間の合間をみては買い物を楽しみ、帰りのトランクの重みを喜んだのは女心でしょうか。

四年後の京都で第十一回世界大会、五年後のサンフランシスコでの開教百周年祭にお逢いしまじょうと別れた手と手をもう一度握ってみたいと念じております。

九月十日午後四時三十分関西新空港へ全員無事元気で帰って参りました。

合掌

教材作成部会を設置

各組で寺族・僧侶研修

HO日誌

◆9月1日＝研修指導部会を別院で◆1日～10日＝世界仏婦大会参加の旅。百一人が参加。（二面に関連記事）◆3日＝第一土曜仏教講座。講師は負野義夫師（負野薫玉堂取締役社長）テーマは「香の歴史と文化」今回は京都から薫玉堂の社長さんを迎えて、実際にお香をたいて一人ずつ二種類のお香をにおい、かおりの歴史などについて聴講。いつもと違う趣向で参拝者からお香について質問が◆4日＝永代経開闢法要を大谷本廟で◆揖竜西組徳行寺へセンター協賛懇志について説明のため赤松賛事が出向◆5日＝ビハーラ兵庫役員会を別院で◆姫路東組住職寺族同朋講座・僧侶研修が教福寺で。講師は近藤龍樹師（加古川組普光寺）◆6日＝赤穂北組蓮如上人五百回遠忌法要ご消息披露を浄光寺で。特命布教使は太田唯念師（播磨中組西念寺）◆淡路組住職寺族同朋講座・僧侶研修が萬行寺で。講師は藤野昌俊師（播磨中組光福寺）◆宍粟組住職寺族同朋講座・僧侶研修が妙福寺で。講師は大西耕雲師（宍粟組教専寺）◆7日＝別院仏婦役員会◆別院仏婦定例法座。講師は松本龍圓師（氷上東組明光寺）◆8日＝布教団役員会◆青年僧侶の会役員会◆納骨壇位置決定説明会を浜屋神戸店で。午前中に普通区画の平成四年度と五年度の申込み者を対象に申込み順に位置決定。午後から小型区画の申込み者について実施◆9日＝教学伝道推進委員会を別院で。教材作成部会を設置。部会員は実働できる人材を教区内から人選し、推進委員会・青年僧侶の会からも参画を求め、特に習俗・儀礼に焦点を絞りその調査・把握を行い、来年度中に成果を示せるよう取り組むことが決まった◆11日＝第二十回門徒推進員研修会を播磨中組福恵寺で。講師は山本達誓師（神崎組教徳寺）七十二人が参加（二面に別記）◆13日＝教務所長・教区相談員連絡会議が本山で◆神明組住職寺族同朋講座・僧侶研修が金覚寺で。講師は久堀弘義師（神戸湊組行願寺）◆13日＝納骨壇位置決定説明会を浜屋神戸店で。普通区画の平成六年四月以降の申込み者について実施◆社会教化推進委員会を別院で◆納骨所のチラシを朝日新聞に折り込み。十四日には神戸新聞に折り込み。約七十万部を東は川西市から西は加古川市まで◆13日～14日＝少年教化寺族婦人研修会が本山で◆14日＝寺婦運営委員会◆寺婦委員総会◆神戸東組住職寺族同朋講座・僧侶研修が法台寺で。講師は谷川弘顕師（神戸湊組高松寺）◆14日～16日＝別院常例法座。講師は山本達誓師（神崎組教徳寺）◆15日＝仏教青年連盟委員会を宍粟組西光寺で◆16日＝建設推進・財務部会を別院で◆連研推進委員会を別院で◆18日＝全戦没者追悼法要が千鳥が淵墓苑で。土基教務所長が法要に出勤◆19日＝門徒総代岡山ブロック研修会を岡山南組西方寺で。講師は太田唯念師（播磨中組西念寺）研修指導員は近藤龍樹師（加古川組普光寺）◆スカウトクラブ役員会を別院で◆20日＝門推会報編集委員会を別院で◆得度考査◆21日＝近畿ブロック仏教婦人大会打合せ会議が津村別院で◆22日～24日＝別院彼岸会。お中日にはおはぎの接待。講師は若林真人師（大阪教区中島東組光照寺）「阿弥陀様は、なんまんだぶつとなりきって、この身の中に入り満ちて下さっておる。たった一人の私の人生にかかり果てて下さった。なんというねうちをもろうた私であった。そういうおはたらきをもろうていくのが念仏者である。ようこそお聴聞の身になられましたね。なんまんだぶつを称えられる身になられてよかったですね」と結んで三日間の法座を結んだ◆24日＝仏壮常任理事会・理事会を神戸勤労会館で。中部・近畿ブロック仏壮連絡協議会について。十二月十日から十一日にタワーサイドホテル（神戸市中央区）で開催。講師は佐々木大観師（宍粟組西願寺）また、大谷一泊研修会についても三月十一日から十二日に実施することなどが決まった◆26日＝門徒総代会阪神・神戸ブロック研修会を神戸中組光尊寺で。講師は井上朋義師（加古川組正願寺）研修指導員は藤榮行信師（淡路組宣徳寺）◆矯正大阪管区支部連絡協議会・評議員会が津村別院で。一泊研修会の会場を本年度から回り持ちに。まず、一月下旬に兵庫教区担当で以降和歌山、奈良、京都、滋賀、大阪の順番で◆27日＝門徒総代会東播ブロック研修会を播磨中組教覚寺で。講師は富永真哉師（佐用組浄宗寺）研修指導員は和田宏之師（揖竜東組源徳寺）◆神戸中組住職寺族同朋講座・僧侶研修が徳照寺で。講師は井上朋義師（加古川組正願寺）◆神戸西組住職寺族同朋講座・僧侶研修が浄行寺で。講師は谷川弘顕師（神戸湊組高松寺）で◆28日＝門徒総代会姫路ブロック研修会を姫路西組本徳寺で。講師は佐々木大観師（宍粟組西願寺）研修指導員は近藤龍樹師（加古川組普光寺）◆新宮組住職寺族同朋講座・僧侶研修が潮音寺で。講師は堀正昭師（揖竜西組明正寺）◆30日＝第二十二回近畿地区仏教婦人会大会が大阪府立体育館で。台風の影響が心配されたが、教区から八百人以上の人が参加。

浜屋神戸店での説明会

彼岸会講師の若林師